

令和4年度 地域発 元気づくり支援金 実施事業検証一覧表

事業番号	事業名 (継続事業の年数)	団体名 (所在地)	事業実績 (主な用途 ①: ソフト事業 ②: ハード事業)	事業費 (単位: 千円)		講評
				総事業費	交付額	
1	味覚センサーを活用したシードル味わいマップの作成	南信州シードル協議会	南信州シードルのファンを増やすとともに、シードル販売の促進を図るため、次の事業を実施(2年目) ・味覚センサーを活用し、南信州シードル40品の成分分析を実施 ・成分分析結果を図で解説した「シードル味わいマップ」を更新するとともに、より消費者目線で分かりやすいものに再デザインし、県内外の飲食店、酒販店等に配布 ・シードルイベント・セミナーを開催し、積極的な情報発信を展開  ①味覚センサー分析、シードルマップ作成、テイastingボトル購入費用、ソムリエ謝礼、チラシ・ポスター等制作費、イベント備品購入費	910	728	消費者にとってわかりやすい「味わいマップ」の作成、生産者と消費者が交流するイベントの開催で南信州シードルの認知度向上、地域活性化に一定の効果があつたと考える。今後も活動を継続し、南信州シードルによるつながり人口の増加を期待したい。
2	向日葵油の生産及びこれを利用した製品の開発、生産事業	平谷向日葵しとねる会	平谷村の観光資源である向日葵から採れる種子や油を活用した特産品開発・観光振興に取り組む(2年目) ・向日葵の栽培面積を拡大するとともに、栽培する向日葵の種類を増やす ・向日葵収穫後、菜種を栽培して緑肥とし、畑の生産性向上を図る ・向日葵油の増産と併せ、油を利用したドレッシングやクッキー等の新商品を開発 ・向日葵祭りのPRを強化するとともに、SNS映えするよう写真撮影台を向日葵畑に設置  ①種、肥料、搾油、クッキー・パン開発委託料、写真撮影台、向日葵祭チラシ印刷費等	635	505	平谷村の観光資源である向日葵から採れる種子や油を活用した特産品開発、観光振興に取り組んだ。今後は事業の継続に向け、収益化や資金の確保に引き続き取り組むことを期待する。
3	武田信玄の狼煙を再現し、狼煙で地域をつなごう(パート2)	武田信玄狼煙会	武田信玄の支配下にあった地域間の連携・交流を行って地域を活性化させるため、狼煙リレーを行うとともに、学習を深める事業を実施(2年目) ・南信州～諏訪～山梨を狼煙リレーで結ぶ ・参加地域の狼煙リレー実施エリアを広げ、各地域独自のイベント・PRを実施 ・地域同士でリレーの様子を見学し合い、地域間の交流を図る ・武田信玄と長野県の関係をテーマにした学習会を開催  ①のぼり旗、ポスター・チラシ作成費、学習会講師謝礼	555	416	新型コロナウイルスの影響もあり、目標に届かなかったことは残念だったと思う。しかし、事業継続の意向があるため、行動制限がない令和5年度以降、盛大に事業を実施することを期待したい。
4	繋がり創出による南信州民俗芸能継承推進事業	南信州民俗芸能継承推進協議会	民俗芸能の持続のため、地域企業・住民が地域外の民俗芸能に関心がある人と繋がりを作る事業を実施(2年目) ・南信州民俗芸能ファンクラブでのメルマガ・SNS発信 ・南信州民俗芸能パートナー企業の協賛事業として、カレンダー制作や風流踊ユネスコ登録記念大会を開催 ・首都圏・県内他地域での出張公演や丘のまちフェスティバル、伊那民俗研究集会への参加 ・パートナー企業勉強会  ①記念大会ノベルティ製作費、チラシ・ポスター・広報費、講師謝金、カレンダー制作費、イベント経費、HP運営費	3,356	2,400	ファンクラブ運営やパートナー企業制度を活用した民俗芸能の活性化、風流踊のユネスコ無形文化遺産登録を祝す「第1回南信州民俗芸能フェスティバル」や「飯田丘のまちフェスティバル」への出店など、地域内外から民俗芸能を継承・応援してもらえる機会の創出に取組んだ。引き続き、多様な主体と連携し、民俗芸能の保存・継承に取組まれたい。
5	「春草かるた」を活用した地域の魅力再発見事業	春草かるた制作実行委員会	地域の人々がふるさとに誇りと愛着を持てるよう、地域が生んだ偉人菱田春草について楽しみながら学べる「春草かるた」を制作 ・令和3年度に募集・選考した解説付き読み札に見合う絵札の制作 ・かるたを活用し、公民館や小学校等で有識者による学習活動を実施 ・9月には、地域にある春草公園でかるたを使った地域住民学習会を開催 ・東中学校を卒業した新成人がかるたを活用して地域学習を行い、成人式で発表  ①絵札作成費、かるた印刷費、消耗品等、学習会講師謝礼	750	600	春草かるたにおける語り部養成講座の目標参加人数を上回る盛況を見せ、子供たちとのかるたの触れ合いを通して地域への関心の高まりへとつながることができた。今後も児童生徒たちとのかかわりや連携を絶やすことなく、進めていただくことに期待する。
6	「知るや? 井月さん」南信州プロジェクト-漂泊俳人井月の下伊那巡り-	高森文化ユニット内「井上井月顕彰会下伊那支部」	漂泊の俳人「井上井月」と下伊那地域の関わりを当地域に広めるため、次の事業を実施 ・下伊那における井月の足跡をまとめた冊子「下伊那の井月」を刊行し、地域の文化施設・小中学校に配布 ・地域住民による井上井月学習会(町の資料館で開催)に冊子を活用 ・井月に詳しい文化人を招き、「下伊那の井月」シンポジウムを開催 ・南信州観光公社と連携し、地域住民を対象にした「下伊那の井月 吟行・句碑巡りツアー」を開催  ①冊子印刷製本費、シンポジウム・ツアー講師謝礼、ツアー企画運営費	1,390	1,005	シンポジウムについては、コロナ禍の開催で、参加者は目標よりも下回ったが、一定数集客できたこと、観光公社と連携できたことは評価できる。今後も地域での井上井月の認知度が高まるよう、一過性のイベントとして終わらないような取組を期待する。
7	やるのも見るのもスポーツを楽しむ事業	高森町	2028年の国民体育大会のカヌー協議開催地として地域住民の意識醸成を図るため、地域住民がカヌー競技に親しめる事業を実施(2年目) ・小谷村の子どもたちとの交流会において、カヌーを使った体験・交流活動を実施 ・地域住民を募り、パックラフト・カヌー体験会を年間を通して屋内外のプールや天竜川で開催 ・カヌーオリンピックの羽根田選手を招き、体験・講習会を開催  ①羽根田選手謝礼・交通費、プール施設利用費、パックラフトレンタル料、イベント保険料	970	776	オリンピックを招いての体験会を開催し、町民への「カヌー競技への意識付け」を行えている。今後も継続的な意識付けのための活動を行い、国民体育大会に向け、より効果的なものとするように工夫していただきたい。
8	うるぎ国際センター 英語デイキャンプ自然体験	売木村	つながり人口の増加及び郷土愛の醸成を図るため、集落支援員のアレックス氏による英語デイキャンプ事業を実施 ・毎週末に、中京圏・南信州地域の小中学生を対象した英語デイキャンプを売木村国際センターで実施 ・英語デイキャンプでは、売木村の自然・農業体験や英語講座で構成されるプログラムを実施 ・あえて海外の道具をプログラムに使用し、文化の違いを体感してもらい、地元を見つめ直す契機とする  ①HP拡張費、パンフレット印刷費、参加者保険料、デイキャンプ備品	782	626	目標に及ばなかったが、県外からの参加者もあり、デイキャンプを実施できた。デイキャンプや英語の学びに留まらず、つながり人口を創出できるような発展性を期待したい。
9	天龍村を知る親子キャンプ事業	天龍村	天龍村の大自然、地域住民との関わり、少人数教育などの教育環境を新たな魅力として都市住民に発信するため、次の事業を実施 ・都市部の子育て世帯を対象にした親子キャンプを実施 ・キャンプでは、掛踊り復活プロジェクト参加者、お茶・林業に携わる地域住民、地域おこし協力隊との交流を通じて天龍村の魅力を体感してもらい、「つながり人口」の増加に繋げる  ①親子キャンプ委託費用	405	312	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け4回実施予定が1回のみの実施となってしまった。今後はキャンプだけでなく多種多様なイベントの実施を計画し、都市部の人たちにもっと関心を持ってもらえるような事業に発展できることを期待する。

事業番号	事業名 (継続事業 の年数)	団体名 (所在地)	事業実績 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
10	避難計画から避難所生活まで体験してみよう	学校法人高松学園飯田短期大学	地域防災力の向上を目指すため、避難後に加え避難前にも焦点を当てた次の事業を実施(3年目) ・既存の防災講座(避難所生活の体験・健康二次被害の予防・災害時の調理)に、家族単位での避難所生活体験・マイタイムラインの作成を追加して実施 ・マイタイムラインの作成により、各家庭の避難計画の作成を促す ・既存の避難所体験テキストに、新たにマイタイムライン作成機能を追加した改良版の作成  ①避難所生活シミュレーション、健康二次被害防止体験、防災食体験、避難所体験テキスト、感染症対策、運搬用品 ②災害対応ラップ式トイレ	1,367	1,080	管内の小規模自治体や住民と連携し、一緒に災害時の状況を学ぶことで、地域の防災力向上に寄与している。今後も地域の防災知識を高める指導役としての活躍が期待できるものである。
11	防災マニュアル作成と要配慮者避難訓練	阿智村	住民の防災に対する意識の高揚を図り、村全体の防災体制を底上げするため、次の事業を実施(2年目) ・令和3年度に実施していない地区に自主防災組織の設立及び防災マニュアルの必要性を説明 ・該当地区で支え合いマップを作成するとともに、防災マニュアルの作成・避難訓練を実施 ・村と自主防災組織による防災マニュアル及び支え合いマップの協議・検討 ・防災マニュアルによる避難訓練を実施し、反省点を検証するとともにマニュアルをブラッシュアップ ・防災マニュアルを印刷製本し、各地区に配布するとともに内容の説明を実施  ①防災マニュアル印刷製本費	332	265	参加集落が目標に達しなかったが、防災に対する意識の高揚を図るため、住民に防災マニュアルの作成を働きかけることができた。今後、マニュアルに基づく避難訓練の実施や、継続的に地域が作成した防災マニュアルの更新・改良に取り組むことを期待する。
12	天龍村内の危険個所の道路環境美化整備事業	南信州ツーリングクラブ	天龍村内を走行する車両・バイクの安全性を確保するため、次の事業を実施 ・草木が繁茂すると特に見通しが悪くなる道路を対象に、初夏から秋にかけ、定期的に草刈等の維持整備活動を実施 ・活動前には、行政無線やチラシ配布により広く村民に参加を呼びかける  ①除草・支障木撤去備品・安全用品・ユニホーム消耗品等の購入	747	560	おおむね計画通りの箇所を整備し、危険個所の道路環境美化向上に繋がった。参加者が予定よりも少なく終わってしまったので、もっと広く住民に関わっていただけるよう、募集方法や実施内容の工夫をされたい。
13	南信州環境メッセ2022の開催	南信州環境メッセ2022実行委員会	再生エネルギーの普及や循環型社会構築の機運を高めるとともに、民間企業・活動団体・地域住民など多様な主体が協働して地球温暖化対策に取り組む環境先進地域づくりを目指すため、環境メッセ2022を開催(2年目) ・ゼロカーボン社会をテーマとしたシンポジウムを開催 ・参加団体のブース出展により、来場者や参加団体の環境技術・情報に係る交流を促す ・来場者が楽しく環境問題について学べるよう、アトラクションによる体験講座を実施  ①シンポジウム謝礼・旅費、環境メッセ開催委託料、環境映画・会場備品使用料	5,266	4,000	Youtubeでの配信も昨年よりも高い水準で再生されており、当日も子供から大人まで幅広い世代を対象に環境への関心を高めてもらうことができた。次年度以降も取組を継続し、住民・事業者・団体・行政等多様な主体と協働して、更なる意識醸成と行動変容につなげてもらいたい。
14	プラスチックスマート運動の推進	南信州プラスチックスマート推進協議会	地域住民の“自然界にプラスチックを放出しない意識”を醸成するため、プラスチックスマート運動の啓発に取り組む(2年目) ・地域住民に楽しみながら環境へのプラスチックの影響を体感してもらえよう、遠州灘海岸で講義・ごみ拾い体験のツアーを実施 ・先進的な取組をしている団体から講師を招いて講演会を開催 ・プラスチックスマート運動の認知度向上を図るため、イベントやスーパーの店頭で啓発品を配布  ①ツアー用に係るチラシ作成・広告・貸切バス代、講師謝礼、啓発物品代	821	652	具体的な効果は上げられなかったものの参加者の大半がプラスチックスマートに対する意識が高まったという回答を得た。まだまだプラスチックスマートの認知度は低いため、今後も認知度アップに向けて管内及び天竜川流域の関係団体等と連携し、プラスチックスマートへの理解を一層深められるよう取り組んでもらいたい。
15	飯田下伊那の猫の殺処分ゼロをめざして人と猫が幸せに共生できる街づくり事業	一般社団法人猫110番かぎしっぽ	猫の殺処分数県内ワースト1である当地域の猫殺処分数を減らし、猫に優しい街になるよう啓発活動を実施 ・猫の過剰繁殖、殺処分、不妊去勢手術に係る啓発用チラシを作成・配布 ・飯田動物園において、不妊去勢手術や猫問題、保護猫譲渡に関する相談・啓発活動を実施 ・「にゃんにゃんフェス2022」を開催し、かぎしっぽ代表による講演、絵本の読み聞かせ、地元アーティストによるイベントを実施 ・保護猫の可愛さを伝えながら市民の関心を高めるため、保護猫キャラクターをデザインし、着ぐるみにしてイベント・相談活動に活用  ①チラシ・ポスター印刷費、チラシ折込代、貸出用猫捕獲機、モニター設置台、50インチモニター、キャラクターデザイン費、出演アーティスト謝礼 ②着ぐるみ製作費	663	460	猫の殺処分数県内ワースト1という、南信州地域の問題解決に向けて、様々な創意工夫を凝らした活動を行っている。また、団体主体の活動に留まらず、保健所や市環境課にも働きかけることで、保護猫の譲渡数の増加、猫の不妊去勢手術数の増加という効果を生み出している。
16	海の、山の、地域の生きものを知って守ろう！動物愛護週間イベント	一般社団法人 恩がえしILIA	プラスチックゴミや温暖化による生物への悪影響を身近に感じてもらうため、次の事業を実施 ・移動水族館、河川清掃で収集したゴミ、プラスチックスマート啓発パネル、紙・サトウキビストロー等の展示啓発イベントを9月に開催 ・イベントの実施会場で当法人の公式LINEを案内し、当法人の活動を発信するとともに、河川清掃ボランティアへの参加者を募集  ①移動水族館(3日間)、施設利用料、移動式洗面台、エサ販売用ガチャガチャ、台車、テント(一部レンタル)、紙・サトウキビストロー、チラシ・ポスター代	924	587	台風等の影響により集客数は予定を下回ったが、当初計画にそった啓発活動を通じて、参加者の方に環境問題意識をもっていただく機会を創出できた。今後、さらに広い範囲への効果を生み出せるような活動を期待する。
17	地域住民の心を癒す「松木渡場の桜」再生事業	山吹川原組合	地域の憩いの場である松木渡場の桜を守り伝えていくため、次の事業を実施 ・専門業者による枯れ枝伐採、テングス病除去、病害虫防除 ・樹木医による桜の維持管理に係る地域住民学習会の開催 ・地域住民による病害虫薬剤散布、桜の補強、桜並木の手入れなどの維持管理活動の実践 ・地域住民・子どもたちに、36災害から復興した松木渡場の歴史や桜の維持管理に関する学習会を開催  ①委託費、肥料・切り口処理剤代、高枝切狭、学習会講師代 ②動噴購入費	1,580	1,248	桜の再生事業を通じて、地域住民の方々に木や緑に対する理解を広げられた。今後も引き続き、地域住民と協力し、再生対策に取り組むことを期待する。
18	九十九谷森林公園の景観整備とくりん草園及びアジサイ園復活事業	喬木村	令和2年7月豪雨により甚大な被害を受けた九十九谷のくりん草・アジサイ園の再生のため、次の事業を実施(3年目) ・くりん草園内の水回しの修繕を行い、愛好会を中心とした地域住民ボランティアにより排水用ホースを設置 ・アジサイ園内の土砂を撤去 ・愛好会により、復旧した九十九谷でくりん草祭を再開 ・復旧した九十九谷で喬木村緑化祭を開催し、復旧状況を地域住民に体感してもらうとともに、住民協働で苗の植栽を実施  ①ツツジ苗木 ②工事委託費	7,452	5,000	愛好会・ボランティアとの協働で、おおむね計画通りに整備が完了した。植栽する場所や方法を工夫している点が良い。今後は整備した公園をさらなる観光コンテンツ化できるような取組をされたい。

事業番号	事業名 (継続事業の年数)	団体名 (所在地)	事業実績 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
19	根羽村フラワーパーク化事業	一般社団法人 根羽村観光協会	根羽村への来訪者を増加させるため、根羽村のフラワーパーク化を目指す事業を実施(2年目) ・地域住民との協働により、ネバーランド周辺・木のぼりキャンプ場に紫陽花・花桃を植栽 ・根羽学園の課外授業で、学園周辺に花桃を植栽 ・根羽学園卒業生に花桃の苗を配布 ・開花時には、SNS及び根羽村観光協会HPにより広報  ①苗、肥料、土壌調査費用、植栽指導費用	884	707	植栽実施本数や苗木の配布数が計画通りに実施できなかったため、効果が限定的なものとなってしまった。住民参加も少なく終わってしまったので、今後の活動においては多くの地域住民を巻き込んで活動いただきたい。
20	三遠南信自動車道の開通を契機に「天龍峡」を竜東地域拠点とする新たな観光資源開拓のための挑戦	龍江地域づくり委員会	龍江地区の天竜川河畔、坂、里山や果樹収穫体験などの観光資源と親和性の高いアウトドアレジャーを組み合わせて独自性の高い観光コンテンツを作るため、次の事業を実施(3年目) ・農家民泊、E-BIKE、アウトドアヨガ・ボルダリング、ドラゴンボールりんご狩り等の体験ができる「第三回南信州龍江アウトドアフェス」を2回開催 ・令和3年度に整備した「宮沢分校キャンプサイト」を1日1組のプライベートキャンプ場としてブラッシュアップ ・「龍江フリーペーパー」を発刊し、アウトドアフェスでの繋がりを活かしながら三遠南信地域に配布  ①アウトドアフェス委託料、キャンプ場・HP整備費、フリーペーパー発行印刷費、E-BIKE備品 ②E-BIKE(2台)・ウッドデッキ・ぶどう棚整備費	4,957	3,883	地域で営まれている農業や里山の立地を活かした魅力的な体験イベントを行い、実際の集客につながっている。これは総合5か年計画 南信州地域計画に位置付けた、県が目指す「里山を生かした観光の推進」に資する事業内容となっている。 また、実行委員会形式で実施し、周辺公共的団体との連携を進めることで、継続性が高いものとなっている。
21	南信州地産地消推進事業	南信州地産地消推進協議会	地域食材を実需者(ホテル・飲食店等)に提供するためのプラットフォームを整備し、地産地消の推進を図るとともに、生産者の生産意欲・所得向上に繋げるため、次の事業を実施(2年目) ・地域食材を活用したレシピ開発等に繋げる実践的セミナーの開催 ・地域食材を活用したプロ・アマ料理人による料理コンテスト ・実需者が生産者の生産現場を現地視察 ・実需者に地域食材の仕入れ体制やメニュー開発に関する研修会を開催するとともに、モデル施設を実際にコンサルティング ・実需者と生産者をマッチングし、地域食材の需給安定化を図る ・地産地消の店・ツアーを紹介する一般向けHPと、まちの八百屋システムを紹介する実需者向けHPの運用 ・実需者の地産地消のレベルに応じてランクをつけ、地産地消意識を高める ・JAのDMIにチラシの折込や産地ツアーの案内を同封。また、情報発信に係る関係者講習会を開催するとともに、共通ハッシュタグを募集・策定し、地域一丸となった情報発信を実施 ・共通ハッシュタグをデザインに取り入れた実需者向けコースターの制作・配布 ・地産地消番組のケーブルテレビ放送  ①会場使用費、講師・コンサル謝礼、講師旅費、チラシ印刷費、消耗品費、HP運用費、広告掲載費、コースター製作費、ケーブルテレビ番組制作費、地産地消研修会WEB配信費	4,331	3,176	地産地消を進めるための様々な企画を計画し、おおむね予定通りに実施できた。継続2年目となる今年度は、地域食材の生産者と消費者をつなげるプラットフォームの構築を行ったが、試験運用に終わってしまったので、来年度以降、プラットフォームを実用化できる取組に発展できるとよい。
22	飯田線を活用した龍泉閣活性化事業	天龍村	リニア中央新幹線開業を見据え、飯田線の魅力及び龍泉閣の集客効果を高めるため、次の事業を実施 ・飯田線の歴史パネルを作成し、既存の飯田線ジオラマとともに龍泉閣館内に展示 ・展示物を活用し、鉄道ファンをターゲットとしたYoutube広告を実施 ・JR東海の「飯田線秘境駅号」や「さわやかウォーキング」などのイベント時に展示物ガイドを実施 ・南信州観光公社と連携し、飯田線の旧線を活用した商品コンテンツを構築 ・村在住の旧国鉄職員を講師に迎え、地域住民や村内の子どもたちを対象とした学習会を開催  ①Youtube広告宣伝費 ②展示アルミパネル製作費	2,310	1,749	予定よりもパネルの制作期間がおしたことで、多くの集客が見込める「飯田線秘境駅号」のイベントに間に合わせる事ができなかった。 今後、制作したパネル及び動画をさらに有効活用することにより、龍泉閣の利用増加につなげていただくことを期待する。
23	地域ブランド「市田柿」の発信による地域活性化	市田柿活性化推進協議会	「市田柿」ブランドの継続的なPR活動に繋げるため、次の事業を実施(3年目) ・令和3年度に作成した「市田柿ストーリーブック」を基にした「市田柿」PR動画(全国展開による販促用1分動画、食育啓発用10分動画の2種類)の作成 ・クッキングコーディネーターと地元の高校生・短大生が共同作成した市田柿レシピをまとめた「市田柿レシピブック」の作成 ・加盟団体を通して全国の市田柿販売店舗に販促用動画・レシピブックを配布し、市田柿の全国的な知名度向上を図る ・地域住民を募り、レシピブックを活用した料理教室を開催  ①PR動画制作費、レシピブック作成費、料理教室講師・食材・調理器具借用費	3,813	3,051	コロナ下で計画した活動ができない中、「市田柿」のPRに向けて地元、全国の両面に計画的に働き掛けた。特に、販売促進用動画については、今まで地域では取り組んでこなかったSNSにも活用でき、広範囲での動画配信が可能となった。 また、「市田柿レシピブック」の作成で地元のアイデアを取り上げ、有名講師による監修で一味違った内容となり、併せて料理教室を開催し体験もできた。今後、さらなる工夫を凝らした取組に期待する。
24	耕作放棄地と余った森林資源を活用した特産品開発事業	一般社団法人 ねばのもり	根羽村での新たな特産品を作り、地域住民の所得向上を図るため、根羽村の耕作放棄地や森林資源を活用したアロマ精油・アロマウォーターの特産品化を実施 ・参加者を村内広報や根羽村ワーケーション施設「くりや」の公式LINEにより募集 ・有識者の指導の下、参加者と共同でアロマ用のハーブ・樹木を選定し、ハーブは「くりや」の敷地内で、樹木は村所有の山林で栽培を開始(維持管理は参加者と共同で実施) ・参加者に対し、アロマ抽出のワークショップを開催 ・有識者の指導の下、ハーブ・樹木から抽出したアロマの商品化及び試験販売を実施  ①アロマ用ハーブ・樹木の苗・肥料購入費、ワークショップ・パッケージデザイン講師謝礼、アロマ抽出機器代、耕運機、刈払機	493	385	地域の森林資源に目を向けワークショップを通じ、可能性や発展性を見出した。整備された物品等を十分に活用し、耕作放棄地の整備や、資源の調査・研究により、高齢者や女性の雇用、特産品開発に向けた更なる発展に期待する。
25	売木村地域エコシステムの構築を目指して～みんなで始める週末林業 薪から始める山づくり～	うるぎ焚きもん倶楽部	売木村に豊富にある森林資源の活用した「地域内エコシステム」を実現するため、村内の山林所有者が「週末林業」として森林整備を学ぶとともに、木質燃料(薪)の安定供給に取り組む ・売木村広報(回覧板・ケーブルテレビ)により村内から参加者を募り、チェーンソーなど林業機材の安全講習会を開催するとともに、受講者に無償の林業機材レンタルを実施 ・村内山林約1haに萌芽更新樹種(コナラ等)を植栽し、更新・間伐が容易な薪用の山づくりを実践 ・本事業のPR動画の作成し、売木村文芸祭等のイベントやYoutubeで公開して村内外に発信  ①安全講習会講師謝礼、PR動画作成費、苗木代、獣害ネット代 ②チェーンソー、林内作業車、薪割り機	2,537	1,879	チェーンソーや薪割り機を住民に貸出するシステムが構築できた。また、住民と一緒に山づくりを開始できた。 この取組を契機として、今後、森林新資源をエネルギーとして活用する取組が促進されることを期待する。

事業番号	事業名 (継続事業の年数)	団体名 (所在地)	事業実績 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
26	オリパラレガシー活用事業	根羽村	オリパラ選手村ビレッジプラザに使われた根羽村、天龍村、川上村の木材をレガシーとして活用する事業を実施 ・オリパラ選手村での3村木材活用に係る村民学習会を開催するとともに、令和3年度にデザインした木組格子ベンチ・テーブルを地域住民との協働により組立 ・参加する地域住民は、村内の地区回覧・広報無線により募集 ・組み立てたベンチ・テーブルは、3村の公共施設に展示・活用  ②委託費	4,840	3,226	オリパラ選手村ビレッジプラザに使用された木材をレガシー（遺産）として活用するため、木組格子ベンチやテーブル作成などに取り組んだ。今後、作品を通じて木の魅力を感じてもらい、県産材の利用促進に取り組むことを期待する。
27	高齢や障害(個人的な生きづらさ)を持っている方々の外出のためのインフォーマルサービス創出事業	南信州おでかけチーム“ウイズ”	高齢や障害を持っている人が積極的に外出できる地域を作るとともに、新たな市場創出による観光産業の活性化のため、次の事業を実施(2年目) ・車椅子牽引装置やサポートの活用により、体が不自由な人でも外出ができることを体験できるモニターツアーやイベントの実施 ・本活動の考え方を広めるため、本活動の紹介動画を制作し、SNSやHPで発信するとともに、広報誌(年1回)を作成し、関係施設に配布 ・本活動でのノウハウやサポート内容をまとめたテキストデータを作成し、地域への啓発活動を実施  ①モニターツアー・イベントサポート料金、動画制作費、広報誌印刷費、テキストデータ作成費	979	783	要介護高齢者や障害者が暮らしやすい地域を実現するため、ユニバーサルツーリズムの推進や「要介護高齢者や障害者の外出や旅行をサポートする人材育成研修」などに取り組むことができた。今後もさらなる推進に向けてあらゆる垣根を越えて多様な関係性を築き上げ、活動の領域や視野を広げていかれることに期待する。
28	南信州食材の健康増進効果の検証と販路拡大に向けた取り組み	学校法人高松学園飯田女子短期大学	南信州の地域食材の販路拡大のため、南信州食材の健康増進効果に着目した次の事業を実施(2年目) ・飯田市広報誌により地域住民の参加者を募り、南信州食材を活用して食生活・運動習慣を改善する健康増進教室を開催 ・中学校・高校にチラシを配布して中高生の参加者を募り、南信州食材を活用した食育・体づくり出前講座を開催 ・南信州食材の海外輸出に向けた協議会を発足させ、農林水産物・食品輸出プロジェクト登録及び中国でのウィーチャットを用いたネット販売を目指す  ①チラシ・測定結果印刷代、消耗品(タオル・消毒液等)、徒手筋力計、地域食材、腹囲測定メジャー、活動量計 ②測定用腰掛	404	301	今回の取組では南信州食材の摂取と健康増進効果の関係性がはっきりと検証できなかった。また、販路拡大に向けた具体的な取り組みも不十分に終わってしまった。今後、南信州食材を健康食として広めたいという目的を達成できるような活動に期待する。
29	都市との連携による飯田下伊那(南信州)地域の活性化に資する事業	特定非営利活動法人南信州山都共同社中	中山間地域の活性化のため、地域住民・農家・市町村・地域企業と連携し、都市部と中山間地域の相互補完事業を次のとおり実施 ・農家と地域企業が連携した中山間地域での希少西洋野菜の栽培と都市部への販売支援 ・農家・飲食店・地元企業が連携した高付加価値の野菜セット・リゾットセットの開発・販売支援 ・下條村の宝ノ戸地区での企業ダーチャ(地域と都市部企業の継続的な交流事業)を根付かせるため、企業ダーチャ先進地(北斗市)の視察研修や宝ノ戸地区での企業ダーチャの導入支援 ・ダーチャ有望企業への宝ノ戸地区プレゼンテーション支援  ①コンサル委託費、希少西洋野菜の視察研修費・栽培消耗品費・交通費、ダーチャに係る視察研修費・講師謝礼・交通費	3,156	2,266	参加者の高付加価値・高収入野菜やマーケティングに関する意識醸成のために情報の見える化、結果の共有が行われた。顧客増や栽培計画、販売計画に関する課題が残るため、今後の活動に期待する。
30	長野県移住モデル地区のお試し移住の仕組み構築事業	南信濃1500委員会	南信濃地区への移住定住を促進する「お試し移住」の仕組みを構築するため、次の事業を実施 ・遠山郷での暮らしに興味がある首都圏の人を募集し、遠山郷の暮らし体験プログラムを実施 ・地区外に暮らす地区出身者にUターンを促す「田舎へ帰ろうプロジェクト」のチラシを配布 ・移住者家族を地域で細やかに支援する「暮らしサポーター制度」を導入 ・移住者の「お試し住宅」になる空家の確保に向けて他地区経験者による研修会を開催するとともに、実際に空家の調査・確保に取り組む  ①移住体験プログラム消耗品費、親子留学ポスター・チラシ、空家調査に係る研修会講師・車両借用謝礼、情報発信費用	553	442	空き家活用に関する研修を行ったうえで、地区内の空き家を調査し、「お試し住宅」として活用できるように改修できた実績は、今後の空き家活用のモデルとなり得る。また、まちづくり委員会と連携し、移住相談のワンストップ窓口となる移住コーディネーターを配置したことで、今後さらなる移住者の増加が期待できるものがある。
31	つながり人口創出事業「天龍つなぐカレッジ」	天龍村	都市部の田舎に興味のある方と天龍村とのつながりづくりを行う「天龍つなぐカレッジ」を開催(3年目) ・SNSやSMOUT(移住スカウトサイト)を活用し、都市部の本事業協力者(これまでの関係人口創出事業で関係を構築)の企画による事前説明会を開催するとともに、新規参加者を募る ・都市部協力者をリーダーに据え、新規参加者とともに村民と協働して休止している“かけ踊り”復活プロジェクトに取り組む ・地域の新たな特産品として地域の事業者とともに「きのこ」の栽培・販売開拓に取り組む  ①都市部協力者謝礼、全体プログラムコーディネーター・募集委託費用	1,960	1,568	継続事業3年目の集大成として地域外の若者や地域住民が力を合わせて、地域活動の維持や活性化、次世代へつなぐための活動を行った。特に、都市部の方の協力を得て、地域の伝統行事である「向方お潔め祭」の担い手確保及び「かけ踊り」の復活を達成したことは評価できる。
32	リニア時代に向けて北部5町村と地域が一体となつてつくるまちづくり事業	下伊那北部総合事務組合	リニア開業を見据え、住民・民間事業者・行政等が一丸となって取り組む気運を醸成するため、次の事業を実施(3年目) ・リニアを見据えた地域づくりに関するシンポジウムを開催 ・まちづくり構想の概要をまとめたパンフレットを北部5町村の地域住民に配布 ・北部5町村の職員がそれぞれの町村の魅力プレゼン・意見交換する魅力発見ツアーを実施 ・北部5町村の理事者と商工会、SYMSとの懇談会開催  ①シンポジウム講師謝礼・旅費、シンポジウムテーブル起こし費、パンフレット制作印刷費	536	372	下伊那北部5町村が連携してシンポジウムや魅力発見ツアーを開催するなど、リニア開業を見据えた地域づくりの機運を醸成した。引き続き、積極的に活動を展開することを期待する。
33	地域連携『みんなの教室』夢プロジェクト	一般社団法人 太陽学園	地域の子供たち・住民が気軽に足を運べる場を創るための事業を実施 ・BBQや課外レクリエーション活動を行う夢いっぱい夏キャンプの開催 ・バトミントン、ドッジボール、ソフトバレーボールを行う夢いっぱいスポーツ大会の開催 ・コースターやコマづくりに取り組む夢いっぱい課外教室の開催  ①大鍋・ナタ・手斧、バトミントンラケット・ボール等、屋外ストーブ・インパクトドライバー・工具収納倉庫等、楽器、プロジェクター・スクリーン、消耗品	475	356	コロナ禍での開催であったためか、学園外からのイベント参加人数が目標値を下回る結果となった。コロナウイルス感染症対策を講じつつイベントは予定していたイベントはすべて実施されており、参加者の満足度は高いものであった。今後も継続した活動に期待する。

事業番号	事業名 (継続事業の年数)	団体名 (所在地)	事業実績 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
34	山本地域資源の保存・魅力再発見・活用事業	山本地域づくり委員会	山本地区の文化・伝統等の地域資源をデジタルアーカイブ化し、住民による学習活動に役立てるとともに後世に残す事業を実施 ・各地区から選出された山本地域づくり委員会(地域振興部専門部会)による山本の文化財、史跡、自然環境などを調査し、優先して記録・継承すべき地域資源を「やまもと物語」として定義 ・具体的には、杵原学校、七久里神社とはだか祭り、久米ヶ城跡について、昔を知る住民や関係者から聞き取り調査を行うとともに、郷土史に詳しい講師と情報収集・整理し、デジタルアーカイブ化 ・経過は広報で住民に周知するとともに、山本地区文化祭で完成映像を活用した住民学習会を実施  ①撮影業務、学習会コーディネーター業務、企画・構成・編集業務	1,828	1,462	山本地区の地域資源を次世代に継承していくためのデジタルアーカイブ資料を制作し、上演機会を設けることで、多くの人が地域の歴史や魅力について知る機会を創出した。今後も地域の人をはじめとし、作品を活用した更なる交流促進を期待したい。
35	大鹿歌舞伎映像活用事業	大鹿村	重要無形民俗文化財大鹿歌舞伎の歴史や伝承を映像としてまとめ、地域の学習活動に活用するとともに、魅力を発信するための事業を実施 ・楽屋風景や小中学校での歌舞伎伝承の取組、大鹿歌舞伎を取り扱った映画・ドラマのロケーションなどを交えた映像資料を作成 ・映像資料を活用し、公民館でふるさと学習講座を開催するとともに、小中学校で伝統芸能学習を実施 ・文化交流施設ろくべん館ミニシアターで映像資料を放映し、来館者に魅力を発信  ①映像製作費	1,650	1,320	大鹿村の歴史や伝承の様子、代表的な演目等を映像としてまとめ、地域の学習活動に活用した。既に公民館や小中学校での学習で活用したり、ろくべん館でも放映したりと多くの人に文化財としての意義や価値を周知しているが、今後も後世に伝承する取組に期待したい。
36	Hi-Forest ミュージックフェスタ開催事業	高森町	公益財団法人ジュスク音楽文化振興会と連携し、地域の子供たちや住民がホンモノの音楽に触れ、体験できる事業(ミュージックフェスタ)を実施 ・ミュージックフェスタに向け、地域住民・中学生は地元講師の協力の下、合唱・吹奏楽の練習に取り組む ・ミュージックフェスタ期間中は、プロと地域住民・中学生との交流・練習活動を実施 ・町民向けミニコンサートの開催  ①委託料	2,500	1,639	本物の音楽に触れた事は住民(特に学生)にとって、大きな刺激になったことと思う。この事業で高まった機運が、消えてしまわぬ前に、今後の事業継続に関する検討など、この事業が一過性にならない様、ボランティアスタッフや地域住民との協働により、事業の狙いである「交流人口の増加」などに向け、さらに発展性のある事業となることを期待する。
37	匠の技術と伝統の継承・記録化事業	下條村	地域の技術・知識の継承を図るため、藁草履や正月飾りの製作に取り組む「匠の会」の新規加入者を増やす事業を実施 ・匠の会が持つ伝統技術を映像化・マニュアル化し、保存 ・保育園児、保護者、シニア世代など様々な年代の地域住民を募り、「多世代型交流 草履作り体験会」を開催 ・老若男女問わず楽しめる布草履づくりワークショップを開催し、地域住民の伝統技術への関心を高める ・村の「文化の祭典」イベント時に、匠の会のブースを設け、体験会で作成した草履や匠の会の製作物を展示し、地域住民に匠の会の現状や活動を周知するとともに、新規会員を募集  ①布草履制作キット、撮影・編集委託料、マニュアル製本費	769	598	技術のマニュアル化、映像化により様々な住民の参加が可能となり、ワークショップへの40名弱の参加と新規会員獲得につながっていた。一方で多世代型なら細工講習会への参加者は10名を下回り、参加者獲得に課題が残った。
38	下條歌舞伎300年記念事業プロジェクト	下條村歌舞伎保存会	下條歌舞伎300年を記念し、下條歌舞伎の知名度向上を図るとともに、住民に下條歌舞伎を身近に感じてもらう事業を実施 ・下條歌舞伎プロモーション動画を作成し、県内外に情報発信 ・大道具を製作するワークショップを開催 ・下條歌舞伎定期公演で、舞台装置や大道具を扱う裏方スタッフを募集・体験 ・イラスト書道家和全氏とのコラボ動画を制作  ①プロモーション委託費 ②舞台製作委託費	4,944	3,876	下條歌舞伎演目の舞台製作と定期公演のプロモーション事業を実施した。今回、情報発信の方法を学んだことや、企業との連携により企画力を育んだことで、今後の保存会の活動にも活かされたい。
39	冬季における安心・安全な道路整備事業	泰阜村	泰阜村内の降雪・凍結時の除雪・融雪剤散布作業が間に合わない道路について、地域住民の協働により整備ができる仕組みを構築 ・地区を通じて、優先して整備が必要な道路の洗い出し及び順位付けを実施 ・降雪・凍結時には、住民自ら融雪剤散布機を搬出・操作し、融雪剤を散布  ②凍結防止剤散布機	1,298	811	整備された物品について、多くの住民に知ってもらうとともに、利用可能な住民へ引き続き、十分な説明・研修などを行い、事故なく活用してもらい、住民主体の安心安全な道路が保たれるよう期待する。
40	竹林整備から竹粉の活用を促進する事業	特定非営利活動法人南信州クラブ	地域の課題である放置竹林を資源化し、竹林整備を促進するための事業を実施 ・竹林所有者からの依頼を受け、当法人が竹を伐採・運搬し、竹パウダー化する ・当法人は、竹パウダーを土壌改良剤として地域の有機栽培農家等にPRするとともに、無料配布(余った竹パウダーは、業者に引き渡し、肥料化を図る) ・2年目以降に竹を一定額で引き取り、竹林所有者の竹林整備意欲の向上を図る  ①電動チェーンソー、のぼり旗、チラシ作成費 ②竹破砕機	1,595	1,202	予想を超える希望・相談が寄せられ、地域内での本事業への期待が伺える。地域課題を解決するとともに、新たな需要の拡大につながる好循環が生まれるよう、引き続き取り組みたい。
41	～布ぞうりを通じて～サステイナブル発信プロジェクト	ZORIYA	焼却処分される廃棄衣料をリユースした布ぞうり教室を開催し、ゼロカーボン・SDGsの実現に向けた地域の意識を高めるため、次の事業を実施 ・地域住民に対し、廃棄衣料による布ぞうり制作教室を開催するとともに、ゼロカーボン・SDGsへの学習活動を行う ・教室の参加者は、パンフレットを作成・配布して地域から募集 ・英仏語に対応したパンフレットを作成して環境問題に関心が高いフランス・カナダに活動を紹介し、その反響を地域に紹介することで、参加者・地域への啓発効果を高める  ①パンフレット作成費、講習用冊子代、布ぞうり材料費	607	384	予定されていた事業は概ね実施され、地域内企業とも協力しながら地域協働による事業を実施した。国外の関心もあつめるよう工夫されていた。今後の事業展開に期待したい。
42	新たな竹の有効活用事業	高森町	住民に放置竹林の現状に関心を持ってもらい、竹林整備を促す事業を実施 ・地域住民に無償で破砕機を貸し出す仕組みを構築 ・町が別事業で取り組む「流しそうめんギネス記録更新」チャレンジで、放置竹林から切り出した竹を活用するとともに、各地区で放置竹林の確認・整備に取り組む。併せて、破砕機の貸出・補助制度の周知を図る。 ・伐採した竹の竹パウダー化し、使い捨て食器の原料の一部に利用するとともに、使い捨て食器をたかまりまるごと収穫祭で町民に使用してもらい、竹利用の啓発に取り組む。  ①啓発用竹容器購入代 ②竹粉破砕機、破砕竹回収用パーツ、細目スクリーン	1,624	1,102	購入した破砕機のPRや体制整備を通じ、地域住民や団体の活用による竹林整備の促進を期待する。竹粉利用の食器試作については、実用化の可能性が明確になるよう、課題の精査ができるとよい。

事業番号	事業名 (継続事業 の年数)	団体名 (所在地)	事業実績 (主な用途 ①: ソフト事業 ②: ハード事業)	事業費 (単位: 千円)		講評
				総事業費	交付額	
43	南アルプス最南部山岳遭難防止対策事業	一般社団法人 南信州山岳文化伝統の会	遭難すると死亡・行方不明になる確率が高い南アルプス地域に、IT技術を活用した山岳遭難防止対策を導入し、安心安全な山岳高原観光地づくりに取り組む。 ・IT技術を活用した山岳遭難防止・遭難者探知ツールの開発・導入 ・登山道入り口に相談所を設け、登山客にシステム及び危険箇所の案内を実施 ・地元山岳関係者向け研修会を開催するとともに、相談員として相談所に配置 ・システムとドローンを使った遭難場所早期探知訓練を地域の山岳関係者と実施  ①システム構築費、チラシ作成費、謝礼、備品費 ②ドローン	1,638	997	登山相談所への相談員の配置や研修会の実施、各関係者との連絡体制の整備、登山者への情報提供の強化に加え、IT技術を活用した遭難者探知システム等の導入といった、画期的・多面的なアプローチにより、登山者の安全意識向上と遭難防止に効果があったと評価できる。
44	里山観光資源を活かした体験観光事業による地域振興	特定非営利活動法人 七和の会	地域の農業、里山、景観等の地域資源を活用した体験型観光産業の振興に取り組む ・外部講師を招き、地域住民が体験型観光事業のノウハウ等を学ぶ講習会 ・きのこや干し柿等を活かした里山体験モニターツアーを実施 ・受入拠点の機能を強化するとともに、地域づくり委員会と連携し、地域一体となって体験型観光を展開  ①講師費用、講師交通費、募集告知費、参加費用 ②トイレ修繕、シャワーブース・ミニキッチン設置	5,879	4,413	里山体験観光事業の受け入れの為の準備(ハード/ソフト整備)を実施した。モニターツアーや、体験提供者向けの講習会で得た知識・経験を通して、当施設が里山体験観光事業の拠点となることを期待する。
45	サイクリングによる観光産業の活性化事業	大鹿村観光協会	サイクリングを通じ、村民が大鹿村の魅力を見出すとともに、「自転車による地域活性化」に取り組むための事業を実施(2年目) ・福島晋一氏による「地域住民とサイクリストによる村づくり講演会」や「走行講習会」の開催 ・住民と協働してE-MTB用の新コースの造成に取り組む ・村民を中心としたジオライドツアーの実施 ・村民ガイドの養成 ・住民によるサイクリングコース上のトイレ・給水スポットの提供  ①パンフレット制作費、自転車備品、講演会・講習会謝礼 ②アシスト自転車(E-MTB)、自転車用工具	4,486	3,432	講演会の実施やマップ制作など、想定されていた事業をすべて実施。サイクリストだけでなく地域住民を交えた講演会や探索ツアーにより、地域全体の意識向上につながっている。給水や食事提供による地域住民とサイクリスト関係づくりもはかられ、さらなる住民協働による事業展開に期待したい。
46	南信州フォレストパーク構想事業(地域特産品販売促進事業)	下伊那郡西部3か村地域振興協議会	国道153号線沿いに点在する観光資源をまとめ、一つのエリアとしてブランド化を図るための事業を実施 ・南信州フォレストパークのキャッチコピーや共通ロゴの決定 ・SNSで「木になるカード」で使われた木のフォトコンテストを開催 ・住民がSNS(インスタグラム)を活用したPRを学ぶセミナーの開催 ・3村の魅力発見のため、3村の名所等を巡り、実際に情報発信に取り組むワークショップを開催  ①企画・ディレクション、コンセプト・ネーミング・コピー制作、ロゴマーク制作、ポスターデザイン制作・印刷、講師料	743	594	1年目の本事業では(3年間計画)、根羽村・平谷村・阿智村の3村が連携し、街道(R153号)沿線で“南信州フォレストパーク”と称し、地域の魅力を再認識するとともに、効果的な広報手段を学び、発信することにより注目を集めた。2年目・3年目はイベントの開催を予定しており、今後も効果的にPRし、関係人口(ファン)の増加に期待する。
47	南信州地域資源活用商品開発オープンイノベーションプラットフォーム構築事業	公益財団法人南信州・飯田産業センター	地域資源を地域自ら活用し、付加価値の高い地域産品・コンテンツを創出するため、次の事業を実施 ・地域資源を積極的に開示するオープンイノベーションの考え方を広め、地域資源活用の機運を高めるシンポジウムを開催 ・地域に顧客視線を身に付けてもらうためのマーケティングマネジメント伴走支援を実施 ・地域資源の活用に関心がある集落・地域・事業者等を引き合わせるビジネスマッチングイベントを開催 ・地域がマーケティング、共同開発、契約・知的財産管理等を学ぶセミナーを開催  ①チラシ印刷費、動画広告費、資料印刷費、シンポジウム・セミナーの講師謝礼・旅費等	1,119	895	異業種の参画者が集ったことで、地域資源の多様な活用方法を見出せたのではないかと。今後も継続して取り組み、具体的な商品開発やブランディングに展開することを期待したい。
48	インターンシップアシスト事業	回帰促進協議会	南信州地域へのUターン就職を促すため、地域内外の学生とともに、地域のインターンシップ活動を活性化させる事業を実施(3年目) ・企業に対し、学生が気軽に参加できる短時間・オンラインの「お手軽インターンシップ」への参加を促す ・企業に学生のリアル、ITによる情報発信等への理解を促す支援活動を実施 ・企業のインターンシップ情報を集約発信することで、学生に地域のインターンシップ情報を分かりやすく提示 ・SNS等を活用するとともに、学生が相談しやすいよう配慮した情報発信を展開  ①業務委託費、印刷製本費、消耗品費、輸送費	1,977	1,354	これまでインターンシップを導入していなかった企業の参加もあり、学生へ地元企業の情報発信することができた。今後は、オンラインインターンシップ回数、参加企業数より増やして、多くの学生に地元企業を知ってもらえるよう取り組みの継続に期待したい。
49	伝統食「柚餅子」でつなぐ天龍村坂部地区の伝統	NPO法人 ツメモガキ	天龍村坂部地区に伝わる伝統食「柚餅子」を未来に繋げるとともに、関係人口づくりに寄与するための事業を実施 ・柚餅子づくりとともに、住民との交流を楽しめる「柚餅子づくり体験ツアー」を実施 ・柚餅子づくりに関心がある地域住民を集めた「柚餅子づくり体験」を実施 ・村内小学校で柚餅子づくり授業を実施  ①施設使用料、講師謝礼、宣伝費、印刷費、食材費、軟水器、機材運搬費 ②蒸し器、給水・ガス管工	843	573	当初計画通りにツアーを行い、村内の方々に柚餅子作りに関わっていただくことができた。今後は体験にとどまらず、柚餅子を継承していける作り手を増やせるような活動に発展できるとよい。
50	丘の上カップリング推進事業	飯田商工会議所 青年部	結婚を希望する男女をカップリングし、結婚に繋げるため、次の事業を実施 ・恋愛セミナーを開催し、参加者に自分磨きに取り組んでもらう ・愛郷心を育むため、「結」をテーマに伝統産業である水引を使ったワークショップを開催 ・参加者は3か所程度の飲食店をまわり、その後1つの会場に集合し、男女のカップリングを図る  ①講演費、ワークショップ材料・講師謝礼、ポスター・チラシ制作費、会場費、広告掲載費、広告デザイン費、チケット制作費	501	375	青年部が中心となりカップリング事業を実施するにあたり、理論編と実践編等を交えて参加者が楽しめる内容に工夫したことにより、計6組のカップルが誕生した。3回目の開催はコロナのため中止となったが、今後は県域を越えて移住・定住政策と絡めた施策を検討されることと、ますますの発展を期待したい。
51	高森町飯田線開通100周年記念事業	高森町飯田線開通100周年記念事業実行委員会	高森町内4駅の開業100周年を記念し、飯田線の歴史を振り返るとともに、魅力を再発見するイベントを開催 ・飯田線を活用しながら町内の名所を巡るウォーキングイベントを実施 ・秘境駅の散策や飯田線クイズなどのイベントを盛り込んだ貸切臨時列車の運行 ・大型プラレールを活用したジオラマや鉄道備品などの展示会 ・資料館「時の駅」で飯田線の歴史的な写真や資料に係る特別展 ・飯田線に関わる風景や人々の生活・思い出の写真を募集し、「飯田線ふれあいフォトコンテスト」を開催 ・地元住民への聞き取りや収集資料を基にした記念誌の発行と住民学習会 ・飯田市日赤奉仕団が製作した飯田線に係る紙芝居を小中学校で講演 ・記念切符・記念グッズ(クリアファイル、カード、ペーパークラフト)の作成  ①チラシ・ポスター等広告費、貸切臨時列車、鉄道展示会・フォトコンテスト・紙芝居謝礼、記念誌・グッズ作成費	2,774	2,092	様々な展示・イベントにより、鉄道ファンだけではなく地元の方や小中学生の若い世代に向けた内容になっている。これで取組を終えてしまうことなく、今後のさらなる発展に期待する。